



OWNER'S MANUAL

PDX-a2S

取扱説明書

〒154-0011

東京都世田谷区上馬 2-37-1

電話 03-3412-7011

ファックス 03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PDX-a2Sをお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

本機の特長	3
取扱い上のご注意	3
A.S.T.S. (ANTI SKIPPING TONE-ARM SYSTEM) について	4
各部の名称と機能	5
お使いになる前に	5
組み立て方	6
接続と設置	7
調整のしかた	8
演奏のしかた	9
故障かな?と思ったら	10
保証、アフターサービスについて	10
主な仕様	表裏

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

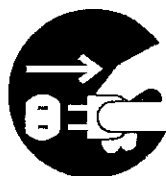
この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



分解禁止

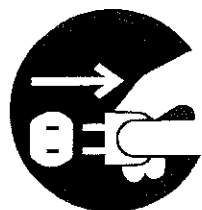
- ⊙ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源指を挟まれないよう注意抜け

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないよう注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜け

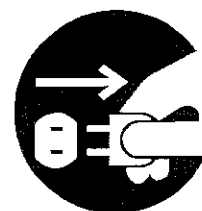
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 世界初のパフォーマンスDJ用縦置きダイレクトドライブターンテーブルです。基本性能はDJ用ターンテーブルのベストセラーPDT-5000継承しており、素早いパフォーマンスを実現するために各種操作機能が縦置き用にアレンジされています。
- スタート・ストップボタンを左右に装備しました。これにより本機をミキサーの左右どちらに設置しても手元で素早くスタート・ストップ操作が可能です。
- 新設計のASTS (Anti Skipping Tone-arm System) とTH (トレーシングホールド) 方式を採用したトーンアームは、素早いスクラッチプレイ時の正逆回転動作により発生する針飛びを最小限に防ぎます。また、ベスタクスターンテーブルシリーズ共通の高さ調整機構を装備しており、様々なカートリッジ、プレイスタイルにあわせたベストセッティングが可能です。
- スタート・ストップボタン、クォーツロックボタン、回転数切り替えボタンにはVestax DJミキサーのPMCシリーズで実績のあるトランスフォーマー・スイッチと同等の機構を採用し、よりスムーズな操作を可能にしました。
- 多くのDJの意見を参考にした、新設計のトーンアームレストは、レコード交換時の操作性を向上させました。また、ストッパーを装備しており、使用しない時や運搬時にアームを保護します。
- ハイトルクダイレクトドライブモーターの採用により、起動トルク1.6Kg・cmを実現。これにより、重量級ターンテーブルがわずか0.3秒 (33 1/3rpm時) で立ち上がり、頭出しがタイミングよく行えます。
- トーンアームは世界初のフローティングサスペンションシステムの採用により、ハウリングを極力防止することに成功しました。
- 連続可変ピッチコントロール方式を採用。極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に可変させることができます。また、ピッチフェーダーヴォリュームはクリックを持たないため、全域にわたり微妙なピッチ調整が可能です。
- ピッチフェーダーヴォリュームはデタッチャブル方式の採用により、メンテナンスを容易にしました。
- クォーツロックにはON/OFF切り替えスイッチを採用し、ピッチフェーダーを動かしていても、瞬時に定速回転に切り替わります。
- 針先を照明するライトは、取り外し可能なデタッチャブル・スタイラスライトを採用しました (別売 DSL-1 定価¥2,500)。
- スタート/ストップを外部 (フットスイッチ等) でコントロールするためのリモートコントロール端子を装備しています。
- 電子ブレーキ機構を採用していますので、ワンタッチで素早くブレーキがかかります。
- スクラッチプレイが可能なスリップマットを付属しています。

取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。トーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーのGND端子にしっかり接続してあるかどうかチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

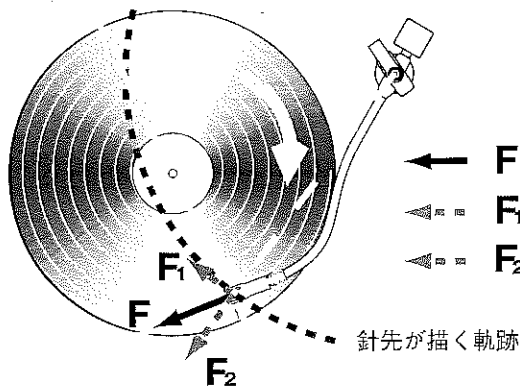
- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- アースをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウェイトやシェル/カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

A.S.T.S (Anti Skipping Tone-arm System) について

A.S.T.S (アンチ・スキッピング・トーンアーム・システム) はプロフェッショナルDJのためのトーンアームを追求する過程で、長年の経験と試行錯誤の末に開発されました。この機構は、激しいスクラッチパフォーマンスの際に生じる針飛びの問題を解消し、今までのトーンアームの既成概念を打ち破ることに成功しました。A.S.T.S はショート/ストレートアームとTH方式 (トレーシングホールド方式) という2つの機構を採用することにより、針飛びの原因となるカートリッジに加わる横方向の力、インサイドフォース、アウトサイドフォースを最小にします。

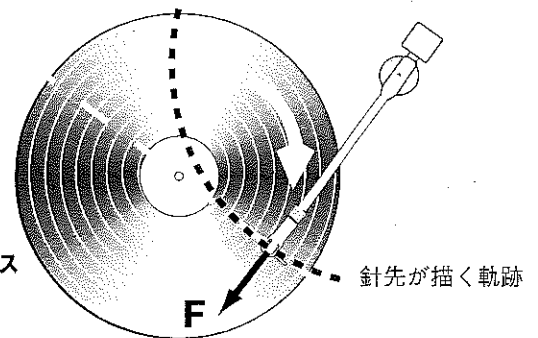
- インサイドフォースとアウトサイドフォースのキャンセレーションを追求するのではなく、これらのベクトルを発生させないことを前提に作られたアンチスキップ機構は、正回転/逆回転時に発生する横方向の力を極小に押さえ、カンチレバーにかかる負担を大幅に軽減します。又、トレーシングホールド方式の採用により、手でレコード盤面を触れる時に発生するトーンアームの上下方向の振幅も、バランスウエイトの重心位置をアーム支点より低くし、復帰力を高めることで最小限に押さえました。この上下左右両方向のぶれを抑えることで、キューイングやスクラッチ動作時の針飛びの発生回数の92%以上も減少させるという驚異的な性能を実現させました。
- アーム有効長を短くし、アルミニウムパイプと真鍮パイプの2重構造にすることで、レコード盤の音溝信号振動を確実に伝達しつつ、ステージやブース内での大規模なSRシステムによって生ずる大音量下での不要外部振動の伝達を抑制し、耐ハウリング性能を50%以上向上させたとともに、音の立ち上がりを初めとする音質面での改善を可能にしました。
- “微細な信号振動を全て伝える”のではなく、“必要な信号振動を如何に伝えるか”と言う見地から、接合部のネジ、接着剤、ピボットベアリング、ボールベアリング等の各パーツの MATERIAL レベルの見直しを行い、音の滲み感、圧縮感を排除した躍動感あふれるサウンドを生み出すトーンアームシステムを実現しました。

S字アーム



針先とレコード間に発生するトラッキングフォース (摩擦力) がインサイドフォースを引き起こします。

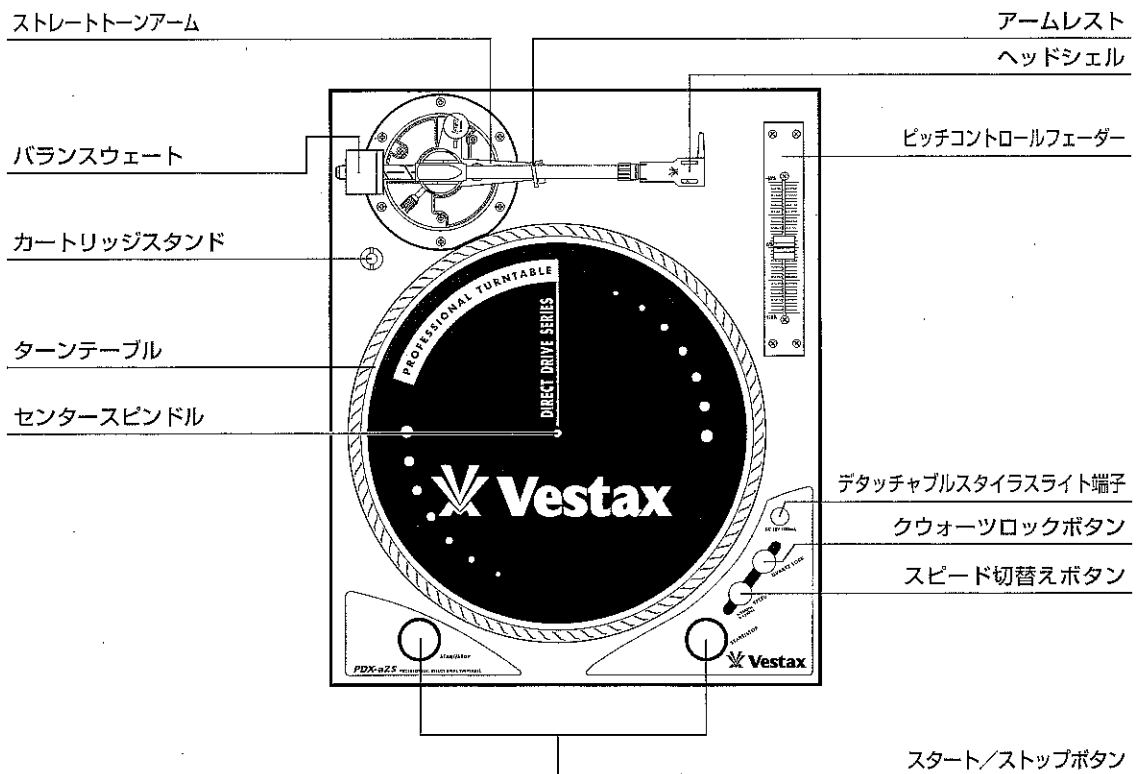
A. S. T. S



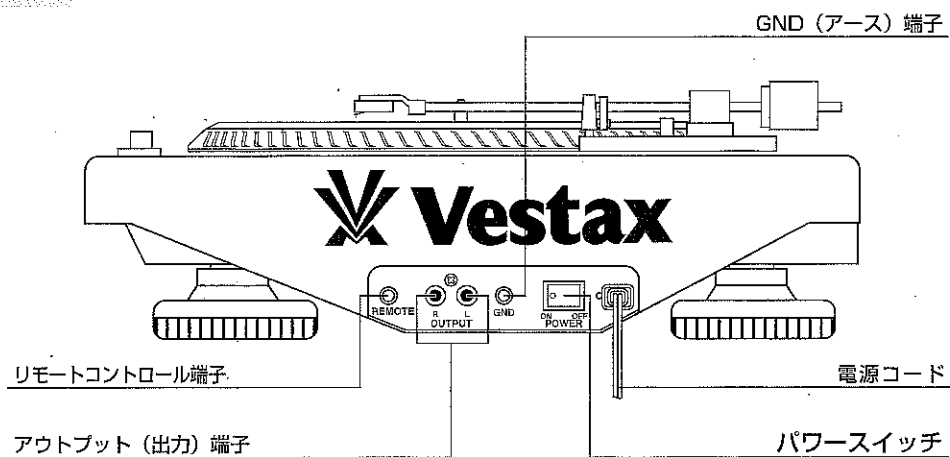
インサイドフォースが最小限に押さえられます。

各部の名称

フロント部



リアパネル部



お使いになる前に

部品、付属品の確認

本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

1. 本体
 2. ターンテーブル
 3. スリップマット
- 本体を保護する前部パッキンに配置しているもの。
 4. シェルウェイト
 5. ヘッドシェル
 6. バランスウェイト
 - 取扱い説明書袋に同梱されているもの。
 7. RCAケーブル
 8. GNDケーブル
 9. EPアダプター

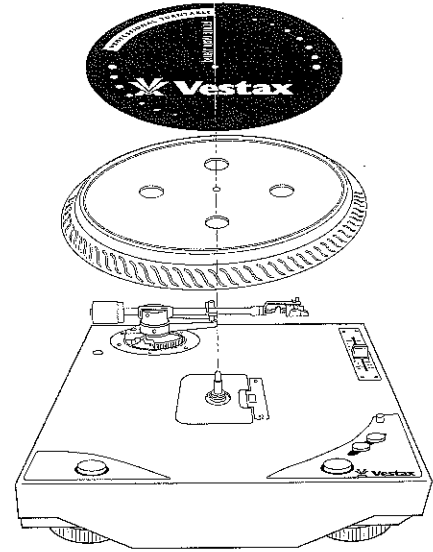
組立て方

ターンテーブルの取り付け

- ①ターンテーブルをセンタースピンドルにはめます。
- ②スリップマットをのせます。

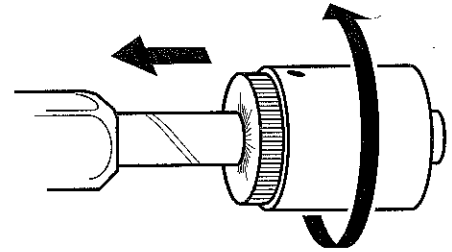
ご注意

組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
ターンテーブルを取りつける場合、本体に当たらないようにご注意ください。



バランスウェイトの取り付け

- ①バランスウェイトをトーンアーム後方から入れ、正面から見て左回り矢印の方向に廻します。



スリップマットの使い方

- ①ターンテーブルの上にスリップマットをのせ、その上にレコード盤をのせます。これにより、ターンテーブルの回転中に、手でレコード盤を止めたり、逆転させることができます。



表 面：レコード装着面（印刷面）
裏 面：スリップ面

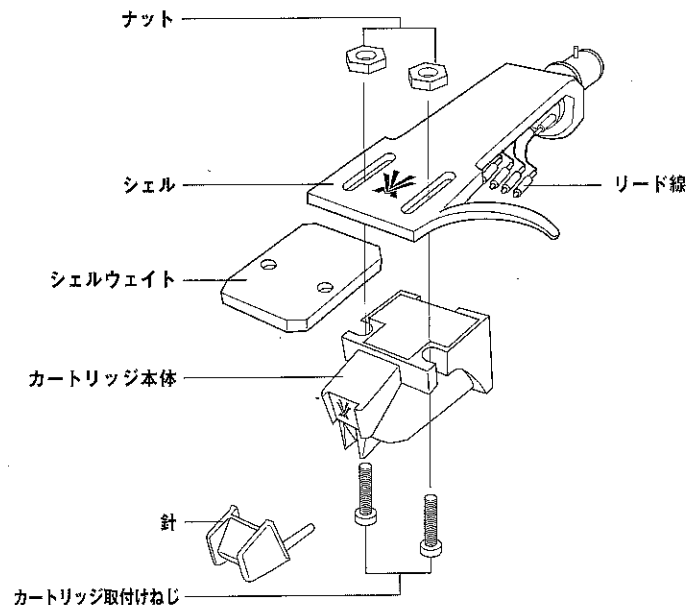
カートリッジの取付け

- ①図を参考に、ご使用のカートリッジ説明書に従って取付けてください。また、カートリッジをヘッドシェル先端と平行に取付けます。
- ②カートリッジのリード線のL、R極性は以下のようになっています。

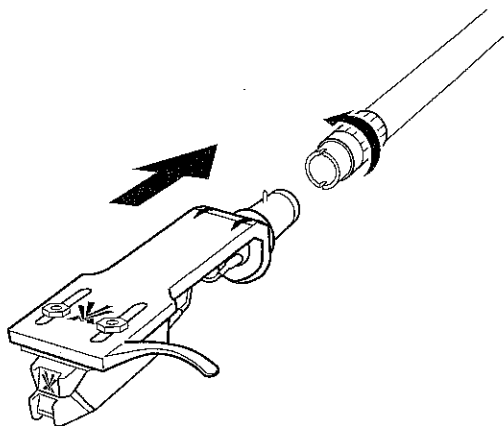
赤のリード線 R+ 緑のリード線 R-
白のリード線 L+ 青のリード線 L-

ご注意

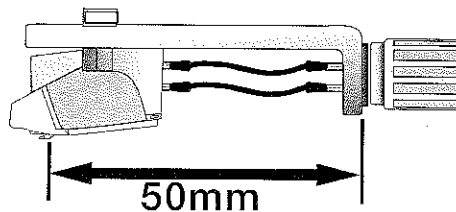
軽いカートリッジ（4g～5g）を取付ける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。



③ トーンアームの前面にヘッドシェルを差し込みヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。



④ カートリッジの取り付け位置の調整します。A.S.T.Sでは、一般のS字タイプのトーンアームで必要とされるオーバーハングの調整は必要ありません。ただし、最大限にA.S.T.S性能を引き出すためには、下のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を50mm程度に調整して下さい。



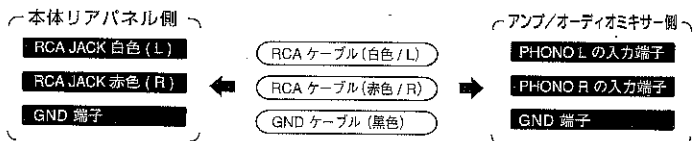
ご注意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。

接続と設置

PHONO端子の接続

① 付属のRCAケーブルとGNDケーブルを本体リアパネルにあるアウトプット端子とGND端子に接続し、これらのケーブルを使用するアンプやオーディオミキサーのPHONO入力端子とGND端子に接続してください。



電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続します。

ご注意

本機は交流 (AC) 電圧100Vでご使用いただくようになっています。200Vの電圧や直流 (DC) 電源には絶対接続しないでください。

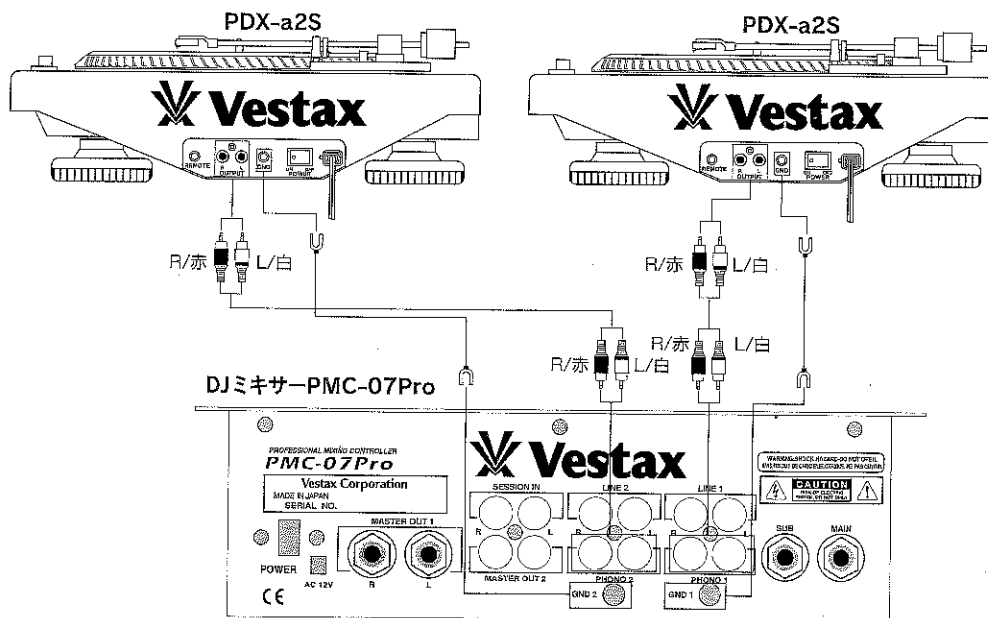
プレーヤーの設置

- ① 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- ② スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。
- ③ 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- ④ 通風の良い場所を選んでください。
- ⑤ ラジオ (FM/AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

ご注意

アース線の接続は必ず行ってください。アース線を接続しませんでしたと電源ハム（ブーンという音）が出ます。

接続例



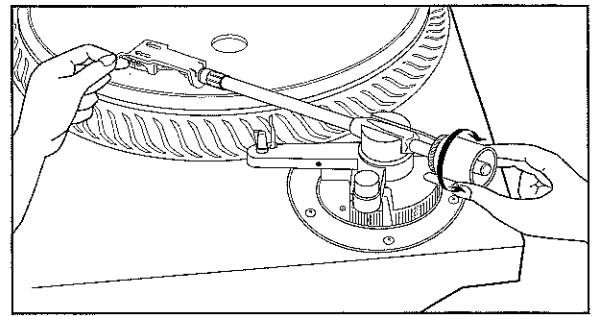
調整のしかた

水平(ゼロ)バランス調整と針圧調整

- ① 針先にふれないように注意して、針カバーをはずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。
- ② バランスウェートを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。
- ③ 水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻します。

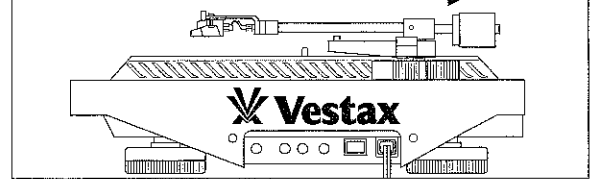
ご注意

水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に触れないようにしてください。



調整例

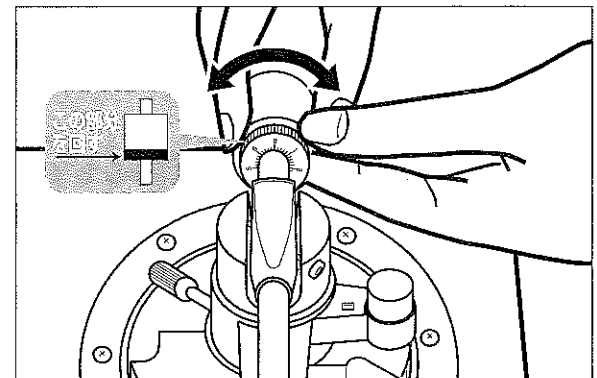
- バランスウェートとカートリッジのバランスがとれた状態です。トーンアームが水平になります。
- × バランスウェートが前方に行き過ぎています。
- × バランスウェートが後方に行き過ぎています。



- ④ 水平バランス調整後バランスウェートを動かさないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛“0”を合わせます。

ご注意

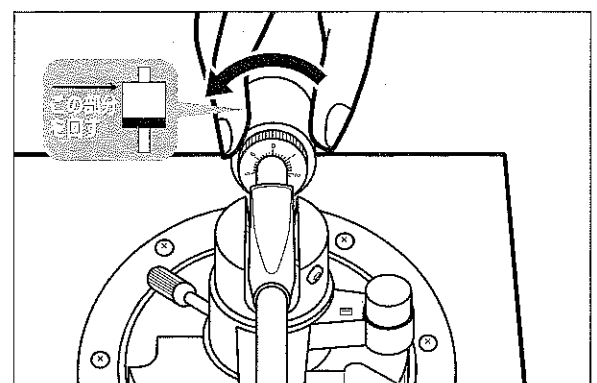
バランスウェートが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直してください。



- ⑤ バランスウェートを図の矢印方向に廻してカートリッジ指定の針圧に合わせます。バランスウェートを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますから、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧力に調整します。

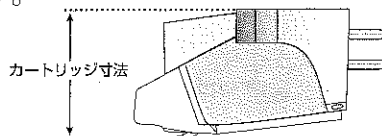
ご注意

スクラッチプレイを行う際、針圧を加えすぎると針飛びの原因となります。また、針圧は加えすぎると針先の寿命が短くなります。適正針圧にてご使用ください。



アームの高さ調整

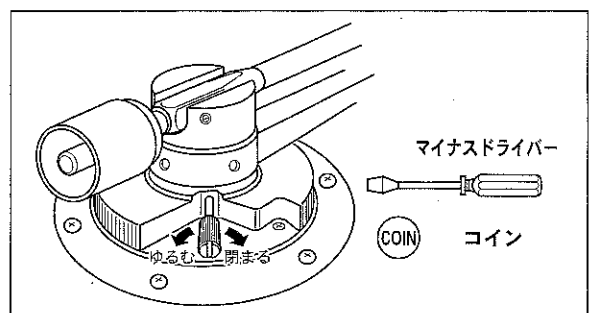
- ① ご使用カートリッジによりアームの高さ調整が必要な場合、アーム高さ調整ネジを廻して調整します。アームの高さ調整範囲は最大9mmです。



- カートリッジの寸法16mm → 高さ調整必要なし
- カートリッジの寸法25mm → 高さ調整+9mm (最大)

ご注意

アーム高さ調整ネジはマイナスドライバー、コイン等で確実に締め込んでください。十分に締め込まれていない場合、針飛びの原因となりますのでご注意ください。



演奏のしかた

- ①レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
- ②上面の左後部に配置されたパワースイッチを押し電源をONにします。
- ③針カバーをはずします。
- ④スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルは回転します。

リモートコントロールについて

本機には演奏のスタート/ストップ機能をリモートコントロールすることができます。リアパネルに装備されたリモートコントロール端子にフットスイッチ等を接続してご使用ください。

- ⑤トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。
- ⑥演奏するレコードの回転数をスピード切替えボタンを押し、33 1/3rpmか45rpmかを設定します。

ご注意

スタート/ストップボタンを押さずにパワースイッチをOFFにした場合、電子ブレーキは働きません。

- ⑦演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
- ⑧スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。その後、パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。

ドーナツ盤レコードを演奏する場合

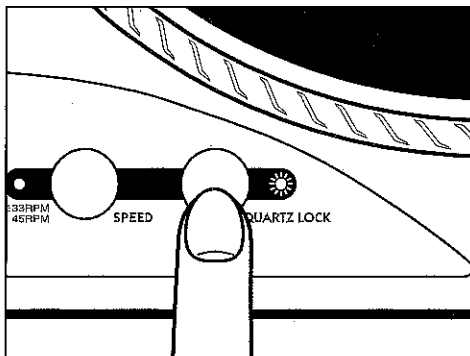
付属のEPレコード用アダプターをセンタースピンドルにはめ、ドーナツ盤のレコードをEPアダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

デタッチャブル ミニライトについて

本機には演奏中に針先を照らす、取外し可能なデタッチャブル ミニライトがオプションとして用意されています。特に必要のない場合には、取り外してご使用になれます。

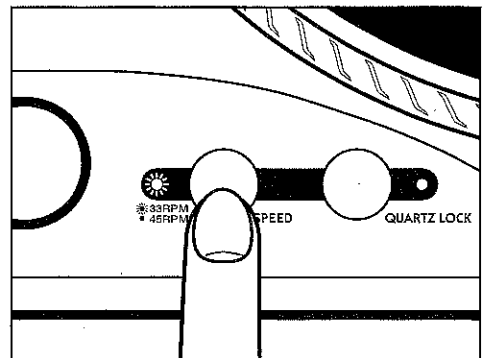
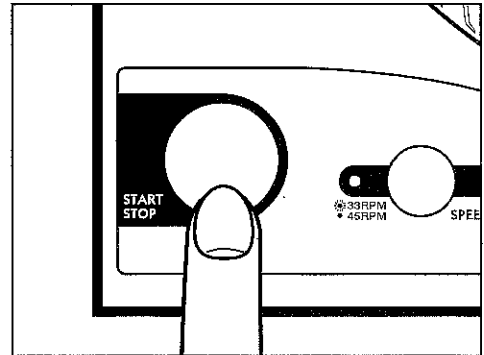
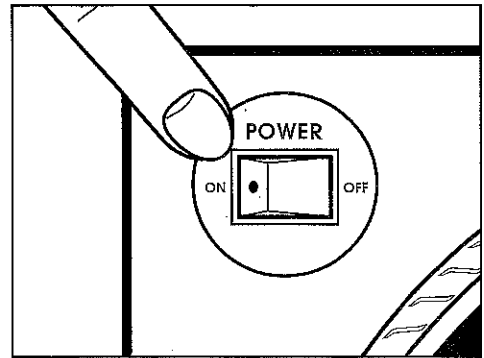
クォーツロックについて

- ①クォーツロックインジケータが点灯している時は、規定の回転(33 1/3rpm、45rpm)が得られます。



☀ 点灯: クォーツロック
● 消灯: クォーツロック解除

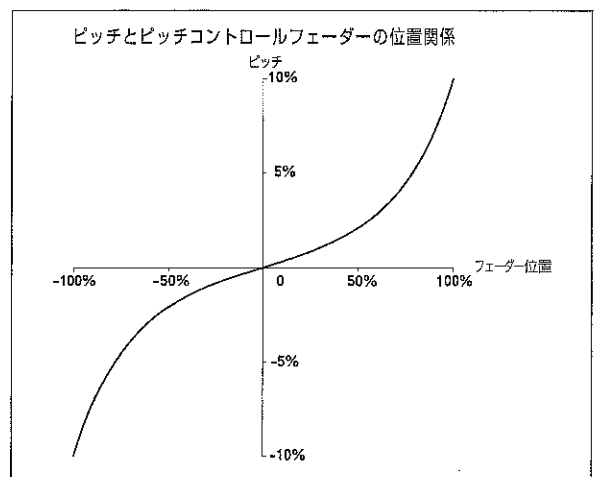
- ②クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが消えて、クォーツロックが解除され、ピッチコントロールが可能な状態になります。
- ③規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻したい時は、クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが点灯し、ピッチコントロールフェーダーがどんな位置にあっても瞬時に規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻ります。



☀ 点灯: 33rpm ● 消灯: 45rpm

ピッチコントロールによる回転数の微調整

- ①ピッチを変えたい時にはクォーツロックボタンを押し、ランプが消えるのを確認してからピッチコントロールフェーダーを動かしてください。
- ②ピッチコントロールは約±10%可変できます。



故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ/オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	アンプ/オーディオミキサーのPHONO INに接続し直す。
	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。(MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。)
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤー本体のアース線がはずれていませんか。	アース線をGND端子に接続する。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカーをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	レコードプレイヤー本体が水平な場所に設置されていない。	水平な場所に設置する。
	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
演奏スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記載されている回転数に合わせる。
ターンテーブルが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

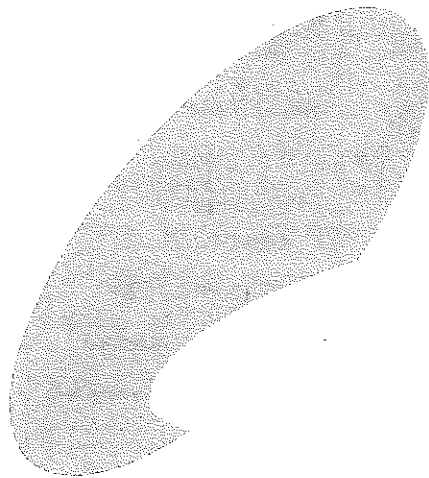
保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () -



主な仕様

TURNTABLE	MOTOR STARTING UP TIME STARTING TORQUE BRAKING SYSTEM RAMBLE (S/N RATIO) SPEED PITCH WOW & FLUTTER	DIRECT DRIVE QUARTZ 0.5sec (33 1/2 rpm) 70° 1.6kg cm ELECTRONIC BRAKE 78dB (IEC 98 WTD) 33 1/2 rpm, 45rpm ± 10% (DETACHABLE 100mm FADER) 0.03% W.R.M.S.
ARM	TYPE EFFECTIVE LENGTH OFFSET ANGLE TRACKING ERROR STYLUS PRESSURE	ANTI SKIPPING TONE-ARM SYSTEM. TRACING HOLD BALANCE SYSTEM 230mm ± 1mm 22° +2° 32' ~ +0° 32' ADJUSTMENT RANGE 0 ~ 7.0g
	LIGHT (OPTIONAL) SPEED LOCK REMOTE DIMENSION WEIGHT POWER	DETACHABLE MINI LIGHT DC12volt 100mA QUARTZ LOCK MOMENTARY START (MINI JACK) (W) 450mm X (H) 150mm X (D) 370mm 9.5kg AC100V